

平成30年度第29回関東高等学校バスケットボール新人大会

ALL KantoH Rookies 2018 in Chiba



(男) 1回戦

試合日: 2019/02/09  
 開始時刻: 9:00~  
 会場: 大網白里アリーナ  
 コート: Bコート  
 試合順: 第1試合(男)1回戦

Team A		Team B
埼玉栄	67	前橋育英
(埼玉県)		(群馬県)

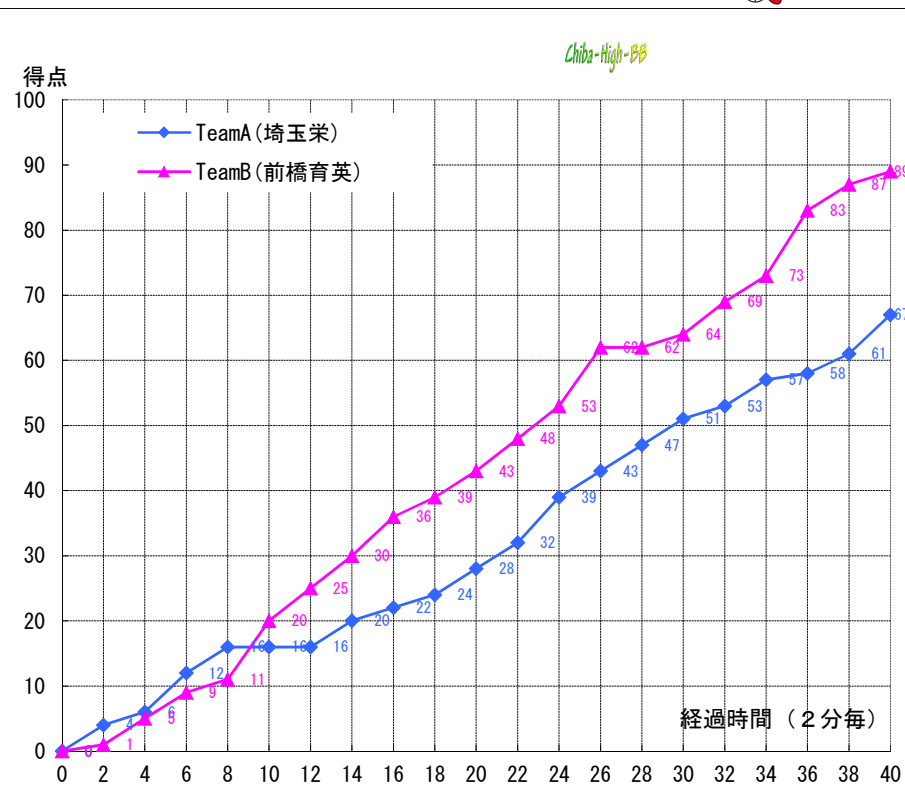
TeamA(埼玉栄)

No.	PT	選手名	得点	3P <sup>*</sup> 成	2P <sup>*</sup> 成	FTR <sup>*</sup> 成	反則	リバウンド <sup>*</sup>			Fス	ブロックショット	ターンオーバー
								off	def	計			
0	◎	磯部 海世	10	1	2	3	2	1	4	5	5	0	4
2	-	鈴木 駿汰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	○	中川 雄仁	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1
9	○	渋谷 恵汰	0	0	0	0	1	2	2	4	0	0	0
11	○	角田 卓己	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	○	林 海生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	◎	清水 大夢	13	0	4	5	2	1	6	7	2	2	0
23	○	山本 星	3	0	1	1	0	0	2	2	0	0	1
24	◎	伊東 大悟	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	4
30	-	中島 俊英	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	◎	大内 淳輝	13	1	3	4	2	2	13	15	4	1	4
33	○	多並 颯麻	9	0	2	5	4	1	3	4	0	0	6
34	-	戸川 陽登	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	◎	二ノ宮 大輝	14	0	7	0	1	0	1	1	0	0	0
41	○	駒場 晨吾	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
Team / Coach:							-	3	1	4			-
合計			67	3	20	18	12	10	35	45	11	3	20

TeamB(前橋育英)

No.	PT	選手名	得点	3P <sup>*</sup> 成	2P <sup>*</sup> 成	FTR <sup>*</sup> 成	反則	リバウンド <sup>*</sup>			Fス	ブロックショット	ターンオーバー
								off	def	計			
4	◎	野本 康悟	10	0	5	0	1	1	2	3	5	0	5
5	◎	田中 勇颯	2	0	1	0	3	2	3	5	1	0	2
6	◎	高橋 涼太郎	10	2	2	0	2	1	3	4	1	1	1
7	◎	船戸 海惇	14	0	7	0	3	4	4	8	2	0	0
8	○	向 奏瑠	7	0	1	5	1	2	8	10	3	2	0
9	◎	高橋 佑太	7	2	0	1	1	1	0	1	0	1	2
10	○	川上 航生	7	1	2	0	1	3	1	4	1	0	1
11	○	渡部 輝	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0
12	○	大川 銀雅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	○	細田 敬員	4	0	2	0	0	1	2	3	0	0	0
14	○	永井 優斗	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15	○	松井 系立	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
16	○	石川 昂	19	5	1	2	2	1	2	3	3	0	2
17	○	鈴木 力輝也	7	1	2	0	3	2	2	4	3	0	1
18	-	茂木 健太郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							-	6	7	13			-
合計			89	11	24	8	19	24	35	59	21	4	14

SS 県立千葉南高等学校 バスケットボール部



タイムアウト

	前半(1-2P) <sup>*</sup> リボ <sup>*</sup>	後半(3-4P) <sup>*</sup> リボ <sup>*</sup>	延1	延2	延3	延4
TeamA	11:34	15:08				
TeamB						

【戦評】

両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤、埼玉栄は#33のインサイドを中心に攻める。前橋育英も厳しいディフェンスで応戦し、一進一退の攻防が続く。第1Q終了間際に前橋育英の#16の連続3P、#17の3Pで20対16と逆転。第2Q開始から前橋育英が着実に点を重ねていき、それに対して埼玉栄は第2Q8分でタイムアウトを取り、ディフェンスを2-1-2に変え相手のリズムを崩しに出る。前橋育英は巧みなパス回しでアウトサイドシュートなどを決め、流れを渡さずに第2Q終了。第3Q、埼玉栄は2-2-1を仕掛け続けるが、前橋育英は#4を中心に確実にボール運び、得点を重ねる。メンバーチェンジをしながら、64対51で第3Q終了。第4Q、埼玉栄も追い上げを図るが、オフェンスリバウンド、アウトサイドシュートで上回る前橋育英が89対67で勝利した。

審判	/ /
----	-----

記入者	川上 肇
-----	------